

植松 雄輔（うえまつ ゆうすけ）先生



- 平成17年4月～平成25年3月
福山高等技術専門学校 電気設備科
- 平成25年4月～平成28年3月
広島高等技術専門学校 電気設備科
- 平成28年4月～ 現在
技術短期大学校 制御技術科 ※
（※令和4年～ 制御システム技術科）

◆ 職業訓練指導員としてのやりがいや魅力

職業訓練指導員としての仕事の最大の魅力は、学生との関わりだと思います。卒業時に学生から「先生、ありがとう。2年間お世話になりました。」と笑顔で言ってもらえると充実感や達成感があります。また、当校を卒業した学生が何年かして訪ねてきた時、技術的な話題や経験で話が盛り上がり仕事の楽しさを実感します。そして、自分も学び続けたいという意欲がわきます。さらに、各種競技大会に参加した学生たちが就職先の企業で様々な活躍をする様子を見聞きすると、自分も頑張ろうという気持ちが強まり、とてもやりがいを感じています。

◆ 職業訓練指導員を目指す方へのメッセージ

教えるという点では、「学校の先生」と同じ仕事と思われるかもしれませんが、職業訓練指導員は実際の企業で使われている技術を教えるので、学生が即戦力として企業で活躍する様子を見ることが出来ます。技術動向はどんどん変化するので、対応していくのに大変なこともあります。実践的な授業や実習を展開できる魅力的な仕事です。また、各種競技大会に参加して、学生と一緒にものづくりの技術を高めることもできるので、活躍するフィールドはたくさんあります。皆さんも職業訓練指導員という仕事に挑戦してみませんか？

出勤



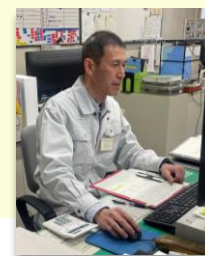
授業「PLCシーケンス実習」

プログラムの組み方を説明したり、提示した課題について、完成した回路の動作確認をします。



事務作業

来年度入学生の入学試験日が近いときは、実施起案の作成を行っています。



家族との時間

家族と一緒に過ごします。テレビを観たり、子どもと遊んだり、薪ストーブを囲んでゆっくりと過ごしています。



8:00

朝礼

8:30

学生への連絡事項や、1日のスケジュールを確認します。

8:35

昼食

お弁当を注文することもできますが、いつもは妻の手作り弁当を食べます。

12:00

13:00



14:30

各種競技大会の練習

4限目に授業が入っていない日は学生の練習に付き合います。

17:15

退勤

車で通勤しているので、安全運転で帰宅します。

18:30



卒業生から見た職業訓練指導員

広島県立技術短期大学校・制御システム技術科の卒業生に聞いてみました！



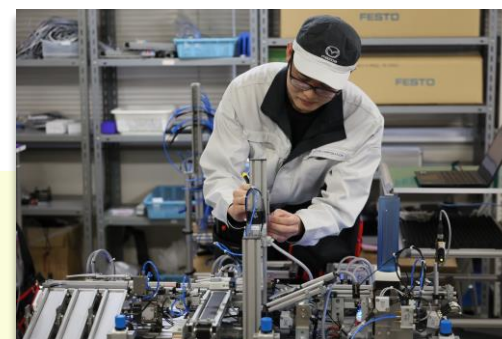
今谷 天駿 (いまたに たかとし) さん

2022年7月 若年者ものづくり競技大会 出場
(メカトロニクス職種)

2023年3月 広島県立技術短期大学校 卒業

2023年4月 マツダ株式会社 入社

人事本部人材開発部人材開発グループメカトロニクス五輪チームに所属し、技能五輪出場選手の候補生として、監督やコーチ、チームの先輩方と日々練習を重ねています。



マツダ株式会社にて、
技能五輪メカトロニクス競技の練習をしている今谷さん



◆学んだことは、現在の業務にどのように活かされていますか？

2年間の短大生活の中で、1年生では基礎を中心に、2年生では、1年生の授業で身に着けた知識を応用し、自分たちで考えたり、共同で製作を行って発表し合ったりと課題解決の仕方やチームワークなど、ものづくりに携わる者として必要なことを多く学ぶことができたと感じています。特に、プログラムをまず自分の頭の中で組み立て、そして実際に手を動かし形にするというやり方を学生時代から経験を積み身に付けることができたことは、就職し現在取り組んでいる業務においても活かされていると思います。

◆若年者ものづくり競技大会に参加した感想や、指導員とのエピソードについて教えてください！

広島で開催された若年者ものづくり競技大会のメカトロニクス職種に校として初出場しました。もともと私はプログラムが決して得意な方ではなく、大会参加の話を知った当初は、正直不安な気持ちの方が大きかったです。

7月末に大会を控え、実際に機械に触り始めたのは年明けの1月頃から。その時は週1回放課後に練習をする程度でしたが、3月に私が今所属しているメカトロニクス五輪チームの方に1週間指導をしていただき、目標達成のために必要なことは何かを自分で考える「課題解決型思考」を教わり、その後は遅れを取り戻すべく自主的に毎日残って練習に取り組みました。メカトロニクス五輪チームの方々に指導を依頼してくださったのも植松先生です。植松先生は、放課後の練習にも付き合ってください、授業では自分で考える力を伸ばすために、そっと優しく寄り添って見守ってくださるような先生です。

植松先生を始めたくさんの方々のサポートのおかげで、入賞まではあと一步届きませんでした。26チーム中7位の成績を残すことができ、嬉しさと悔しさを実感した貴重な経験をする事ができました。

◆指導員を目指す方に一言！

短大や職業訓練校では、技術を身に着け卒業後は就職をすることを目的としている人が多いため、就職先などの進路について親身になって一緒に考えてくれる先生だととても心強いです。また、授業やイベントと一緒に楽しくなるような方も向いていると思います！



企業から見た職業訓練指導員

広島県立技術短期大学校・制御システム技術科の卒業生を採用したマツダ株式会社に行ってきました！



山光明（やまみつ あきら）さん

マツダ株式会社
人事本部人材開発部人材開発グループ 所属

技術短期大学校では、2022年から若年者ものづくり競技大会への参加にあたって、マツダ株式会社メカトロニクス五輪チームを訪問し、1週間にわたって課題解決型思考の研修や技術に関する指導・アドバイスの御協力をいただきながら、出場選手の強化・育成を行っています。

◆県立技術短期大学校や植松先生との関わりについて教えてください！

若年者ものづくり競技大会に向けての事前準備や協力依頼がきっかけでつながりが始まりました。マツダ株式会社では、既に工業高校向けにメカトロニクスの練習場所の提供や、授業の一環として受け入れる数か月にわたる指導プログラムを実施していました。

技術短期大学校は若年者ものづくり競技大会のメカトロニクス職種に初参加ということで、メカトロニクスの機器選定の相談から始まり、既存プログラムを短期間に再編する形で、2022年3月から選手の指導協力を開始し、今年度で3度目となります。選手のメダル獲得に貢献し、ともに喜びを分かち合いたいです。

◆採用された訓練修了生の入社後の様子を教えてください！

知識や技術のみならず、考え方やチームワークの大切さなど、ものづくりの基礎がしっかり身についていると思います。また、月に1度の振り返りの場では、物事への取組み方や考え方を表現できるようになり、成長している姿を見せてもらっています。求めるレベルも上がりますが、それに応えようとする姿勢や競技の力量を上げる訓練では、自信を持ち足りない点をどう解決するか考えを持っている点が良いと思います。技能検定などの資格取得にも前向きに取り組んでおり、さらなる成長を期待しています。

◆指導員のイメージは？

若年者ものづくり競技大会に関するフォローや、卒業生の入社後の様子を見ても、丁寧に指導をされていることがよくわかります。基礎をしっかりと教えつつ、生徒自らの考える力を伸ばすために寄り添い見守ることを大切にし、より良い方向へ進むようさりげなくサポートされています。

◆指導員を目指す方に一言！

広島県のものづくりを支える企業として、ものづくりに携わる人を増やすことも社会的使命の一つと考えています。ものづくりの基礎がしっかりとできている人は、そこからの成長やのびしろが大きく違うことを今の仕事に携わって実感しています。校と企業が協力し、相乗効果で人材の育成に取り組むことができるような先生だとありがたいです。

